

工学研究科 数理工学専攻 [博士後期課程]

ディプロマ・ポリシー(DP)	カリキュラム・ポリシー(CP)
<p>工学研究科では、学部教育で培われた持続可能な社会に向けた工学の知識と技術を基盤にして、現代の複雑化する諸問題の本質を明らかにし未来を切り拓く構想力とデザイン力を身につけ、各専攻の所定の修了要件を満たした者に学位を授与する。</p> <p>◆数理工学専攻 [博士後期課程]</p> <p>数理工学専攻（博士後期課程）では、以下の要件を満たすとともに、所定の単位を修得し、かつ、博士論文についての審査及び試験に合格した者に、博士（工学）の学位を授与する。</p> <p>① モデル構築と解析に必要な最先端の数学、統計理論、コンピュータシミュレーションなどをコアとして、数理工学に関連する極めて高度な専門知識・独創的な技術力を身につけていること。</p> <p>② 研究者を目指して数理工学を学んだ者として、広く現代社会に現れる諸問題の本質を明らかにし、実社会の課題と専門分野をつなぐ基盤となる分野横断的かつ独創的な思考能力を身につけていること。</p> <p>③ 数理工学の高度な知識、技術を駆使することから、IT、社会インフラなど現代社会に現れる諸問題を解決できる、独創的で自立した研究能力を身につけていること。</p>	<p>工学研究科では、学部教育で培われた持続可能な社会に向けた工学の知識と技術を基盤にして、現代の複雑化する諸問題の本質を明らかにし未来を切り拓く構想力とデザイン力を身につけ、人間社会の発展に寄与する高度専門職業人および研究者を育成するために必要なカリキュラムを編成する。</p> <p>◆数理工学専攻 [博士後期課程]</p> <p>数理工学専攻（博士後期課程）では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った成果を上げるために、カリキュラムを『発展科目』『研究指導』から構成する。</p> <p>『発展科目』には、様々な分野の研究に触れ、より広範に分野を超えた視点と思考方法を高め、実社会の課題と専門分野をつなぐ基盤となる分野横断的思考能力を養成する講義科目を1～2年次に配置する。併せて、学外の最先端の研究者が参加するセミナー科目を1～2年次に配置し、構造・現象の基礎的解明または、社会課題の解決に関する極めて高度な専門知識と独創的な技術力を身につける。</p> <p>『研究指導』には、研究指導科目を1～3年次に配置し、それまでに得た研究スキルを元に、課題を自ら見出し新しい分野へ挑戦することで、独創的で自立した研究能力を身につける。</p> <p>これにより、博士後期課程の基盤となる能力を2年次までに涵養し、博士論文の執筆に資する研究を行う。</p>